

**1. 略歴**

- 1981年3月 東京大学文学部国文学専修課程卒業
- 1984年3月 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専門課程修士課程修了
- 1984年4月 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専門課程博士課程退学
- 1986年4月 東京大学文学部助手
- 1988年4月 フェリス女学院大学文学部専任講師
- 1991年4月 フェリス女学院大学文学部助教授
- 1993年4月 上智大学文学部助教授
- 1999年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授（～現在に至る）
- 1999年4月 博士（文学）（東京大学）

**2. 主な研究活動****a 専門分野**

中世文学、和歌文学

**b 研究課題**

和歌文学については、マクロ的には和歌史を構想し記述すること、ミクロ的には新古今集前後を中心とした中世和歌作品の方法を解明することを課題としている。前者は専門化し、細分化された研究の現状に対して、和歌を長い射程のもとに捉え、この文芸のもつ意義と独自性を総体的に把握することを目指している。後者は、作品を完成したもののとして結果論的に捉えるだけではなく、より作者自身の方法に即した、内在的な理解を目標としている。

中世文学については、徒然草や方丈記など、とくに和歌的素養を基盤とした作品について、とくにその文体と方法を解明することを目標としている。

**c 主要業績****(1) 著書**

共著、渡部泰明、『天皇の歴史 10 天皇と芸能』、講談社、2011.11

**(2) 論文**

渡部泰明、「藤原定家の方法」、『文学 隔月刊』、第12巻第1号、42～56頁、2011.1

渡部泰明、「歌合の声―読み上げ、詠じもしたる」、『聖なる一和歌にひそむ力』、132～155頁、2011.5

**3. 主な社会活動****(1) 他機関での講義等**

駒澤大学文学部、非常勤講師

学習院大学文学部、非常勤講師

放送大学、客員教授、「和歌の心と情景」（2010～2013）

**(2) 学会**

和歌文学会、常任委員

中世文学会、常任委員

日本文学協会、委員